

入学者選抜の変更点に関するQ&A



全県一区について

- Q1 なぜ学年制普通科の高校もすべて全県一区にするのですか。
A1 中学生の皆さんが県内どこに住んでいても、すべての高校を選択できるようにするためです。近年、スーパーグローバルハイスクールの指定を受けるなど、特色ある教育活動を進める学年制普通科の高校が増え、そうした魅力ある高校への入学の機会を県内すべての中学生の皆さんに均等に広げます。

県外からの募集について

- Q2 県外からの募集を行う学校や学科はどのように選ばれたのですか。
A2 全国に誇れるような特色のある学科や部活動をもつ高校の中から、それらの特色を伸ばすことで、より一層の活性化が期待できる高校や学科を選び、県外からの募集枠を設けることとしました。
Q3 県外からの募集枠は、どのくらいの人数になりますか。
A3 10月下旬に入学定員を発表する際に併せて発表する予定ですが、各校につき数名程度の少数になる見込みです。

学科改編等について

- Q4 なぜ岐阜高校や多治見高校が単位制になるのですか。
A4 進路目標に柔軟に対応する授業展開を可能にし、大学入学後の学びにも直結するような探究的な学びを実現するためです。
Q5 岐阜工業で行われる学科群ごとの募集のよさは何ですか。
A5 1年生で学科群に関する基礎科目を学びながら、自分の進路目標を見定め、より専門的に学びたい学科を決定していくことができます。

入学者選抜について

- Q6 このリーフレットに掲載された入学者選抜の変更はいつからになりますか。
A6 平成30年3月実施の入学者選抜から対象となります。



このリーフレットの内容に関するお問い合わせは、下記まで。

岐阜県教育委員会事務局 教育総務課 教育企画係
TEL: 058-272-8738 E-mail: c17765@pref.gifu.lg.jp

中学生とその保護者のみなさんへ

岐阜県の県立高校は
平成30年度入学者選抜から

全県一区 となります



その他にも

- 一部の高校で県外からの募集枠を設けます
- 学科改編等を行う高校があります

平成29年7月
岐阜県教育委員会



県内のどの地域からも すべての高校が受検できます

- これまでも、専門学科、総合学科、単位制普通科は県内全域から受検することができましたが、全日制の学年制普通科も含めて、すべての高校が県内全域から受検できるようになります。

【学区別の学年制普通科設置校数と受検が可能になる学校数】

	岐阜	西濃	美濃	可茂	東濃	飛騨
学年制普通科 設置校数	9校	7校	5校	3校	5校	4校
岐阜学区から	○	○	○	○	○ (9校拡大)	
西濃学区から	○	○	○ (17校拡大)			
美濃学区から	○	○(7校拡大)	○	○	○(5校拡大)	○
可茂学区から	○	○(7校拡大)	○	○	○	○
東濃学区から	○ (21校拡大)			○	○	○
飛騨学区から	○ (16校拡大)		○	○	○	○



一部の高校で県外からの募集枠を設けます

- 特色ある教育内容や部活動を実施している一部の高校に、県外からの募集枠を設けます。

<対象高校名(分野)>

加納(音楽) 不破(スポーツチャンバラ) 海津明誠(ヨット)
関有知(ライフル射撃) 八百津(ボート、カヌー) 東濃(ロボコン)
多治見工業(セラミック) 恵那農業(園芸) 坂下(福祉)
高山工業(建築インテリア) 飛騨神岡(ロボット)

※募集方法などは7月下旬に、募集枠については10月下旬に発表する予定です。



次の4校がこう変わります

岐阜高等学校 単位制による普通科になります。

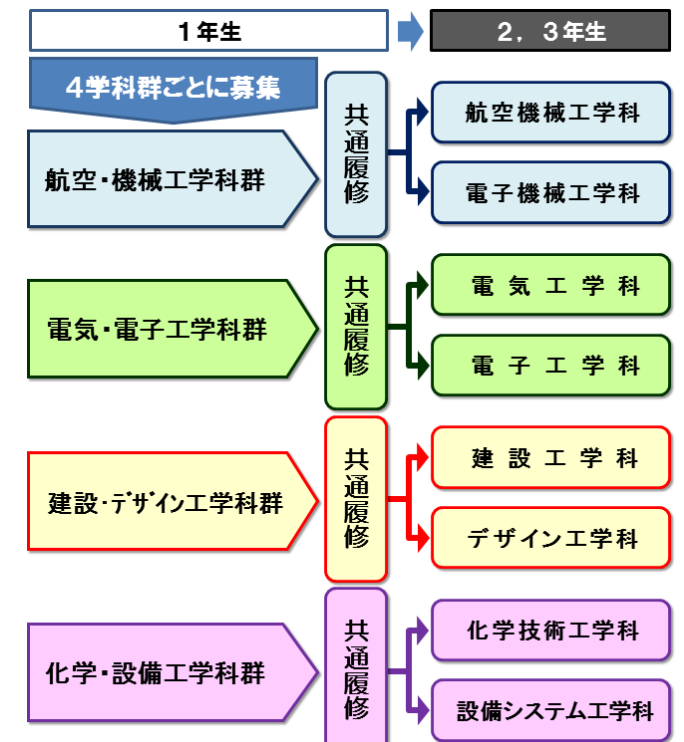
- ✓ 大学入学後の学びに直結するような探究的な学びを実現します。
- ✓ より高い進路目標に対応した多様な授業展開を行います。

各務原高等学校 理数科と英語科の募集を停止します。(普通科のみで募集します)

- ✓ 普通科において理数科や英語科での学びを継承し、課題解決能力や英語コミュニケーション能力を高める学習を行います。
- ✓ これまでの海外姉妹校交流、短期留学制度、各務原市と連携した英語教育活動は継承します。

岐阜工業高等学校

- ✓ 機械科を航空機械工学科とし、これまでの機械科の学習に加えて航空宇宙産業に関する学習も行います。
- ✓ 8学科を4学科群に再構成して、学科群ごとの募集とします。(右図参照)



※学科名称を「○○工学科」に統一します。

多治見高等学校 普通科自然科学コースの募集を停止し、単位制による普通科になります。

- ✓ 多様な授業展開により、個々の興味・関心や進路希望にきめ細かに対応します。
- ✓ 普通科において自然科学コースで実施してきた出前講座や校外研修の財産を引き継ぎながら、新しい体験型学習を取り入れます。